

※ 海外ニュース ※

ドイツ 2017年2月28日 Zeit オンライン版

■ 自転車用高速道路：連邦政府、自転車ハイウェイの整備に奨励金

Radschnellwege : Bund bezuschusst Fahrrad-Highways

大都市圏の通勤者に自転車という交通手段の選択を促すため、二輪車専用の高速道路の整備が計画されている。連邦交通省の策定した法案に従えば、2030年までの期間、自転車用高速道路を建設する州や地方自治体には奨励金の交付が可能になる。本年度は国庫のうち2,500万ユーロをこのための予算として計上し、2022年以後には予算額を縮小する予定だという。

スペイン 2017年3月1日 abertis

■ アベルティスの純益は前年度比13%増の7億9,600万ユーロ

El beneficio neto de Abertis alcanza los 796 millones de euros, un 13% más en términos comparables

2016年も交通量は引き続き増加した。欧州市場では増加傾向を維持し、スペインで5.3%、フランスで1.9%、イタリアで2.6%増加した。また、チリの場合は1日当たりの平均交通量（IMD）が6.4%と、際立った増加を示している。これらの国々が増加したことで、ブラジルでの経済状況の悪化を原因とする交通量2.8%の減少が相殺された形だ。

スペイン 2017年3月2日 abertis

■ グループはアジア市場に参入：アベルティス、インドの2つの有料自動車道路を1億2,800万ユーロで獲得

El Grupo entra en el continente asiático — Abertis cierra la adquisición de dos autopistas en India por 128 millones de euros

アベルティスはインドの2大有料自動車道路、NH-44号線とNH-45号線を1億2,800万ユーロで取得することで、マッコーリーとインドステイト銀行が管理するMSIPLファンドおよびSMITファンドと合意した。両コンセッションの期間は2026年までと定められている。

フランス 2017年3月3日 APRR

■ 第1回「道路交通安全イノベーション」賞にAPRRのテクノロジーがノミネートされる

Première édition du Prix innovation sécurité routière — APRR se distingue en matière d'innovation

昨年11月に募集を開始した第1回道路交通安全イノベーション賞では、道路交通安全関連の省庁間を代表してエマニュエル・バルブ氏が長を務め、同分野の専門家で構成される審査団が、4つの技術に対して賞を授けた。パリ・ライン・ロース高速道路会社（APRR）グループの2つのテクノロジーは賞の最終候補作に選出された。候補作その1は、モバイルアプリ「SOS高速道路」で、スマートフォンに高速道路の「非常電話」を搭載させるアプリである。候補作その2は、逆走自動検知システムである。

フランス 2017年3月7日 VINCI

■ ヴァンシ社が管理する高速道路で、非接触方式の料金収受システム拡大中

Le paiement sans contact se déploie sur le réseau Vinci Autoroutes

2016年7月より銀行カード、スマートフォン、スマートウォッチ、その他のネット接続端末を通じた非接触方式の料金収受システムが試験的に導入されている。このシステムは現在、ヴァンシ高速道路会社が管理する高速道路の10カ所の料金所に導入されており、2017年中に徐々に増設される予定だ。迅速便利で安全であるとして利用者から高い評価を受けているこの新機軸の決済方式は、料金所通過の一層の円滑化に貢献する。さらに、テレペーアージュの普及を補うこのサービスは、消費者の日常生活に少しずつ広がっているキャッシュレス化を促

進するものでもある。大都市圏近郊にある10カ所の料金所の20の車線に本システムが搭載されている。銀行カード協会が定める規定に従い、当システムで決済される最高限度額は20ユーロとなっているが、普通自動車の通行料金の90%以上がこの金額内に収まっている。

フランス 2017年3月8日 Le Figaro

■ 国はフランス国内の道路の状態をもっとしっかりと管理すべし

L'Etat doit mieux veiller à l'état du réseau routier français

「国は国の道路網を良好な状態に保つため十分な予算を割かなければならない。国の道路網はこの数年来、損傷が進む傾向にあり、維持費の増大を招いている」と水曜日、元老院が作成した報告書が提言した。本報告書は国土整備・持続可能発展委員会の発意で作成された。報告書によると、フランスの道路網は100万キロを超える道路から成り、うち11,560 kmは高速道路で、その大部分がコンセッション方式で運営されている。さらに9,645 kmの国道、378,973 kmの県道、673,290 kmの市町村道から構成される。報告書の作成者らはまた、2002年から2006年にかけて民営化されたフランスの高速道路コンセッション会社と国のあいだで2015年9月に締結された高速道路振興計画（32億ユーロ）が継続的に監督されるよう要求している。

ドイツ 2017年3月9日 Zeit オンライン版

■ ハンブルクの交通：渋滞のない車道

Verkehr in Hamburg : Bahn frei

2011年の時点に比してハンブルク市に居住する市民の数は7万人近く増加した。人口の増加は交通量の増大を意味し、特にラッシュ時にはその傾向が強まるものだ。だがここで重要なのは、こうして新たに発生した交通が自動車交通ではないという点だ。バスや高速鉄道、地下鉄、また自転車の利用者数が大幅に増加した結果、道路交通の状況は全体として緩和されていると言える。これは驚くべき事態である。しかもハンブルク市の住民数が増えたばかりではなく、市の外部から流入する通勤者の数も増大しているというのであるから、上述の変化はますます驚嘆に値する。ハンブルク市政府は、このような交通量の軽減を自らの政策の成果と捉えている。

フランス 2017年3月9日 VINCI

■ 高速道路沿いに「緑の回廊」を整備

Des corridors écologiques le long des autoroutes

「緑の回廊」（生物多様性を守るため動物が生息地間を移動できるようにするための施設）の整備は高速道路振興計画内で予定されている投資の1つに数えられている。高速A66号線カルモン（オート＝ガロンヌ県）～パミエ（アリエージュ県）で実施されたこの工事により、同高速道路沿いに設けられていた従来の柵より道路に近い場所に新たに柵が設置され、さらに従来の柵が約10m間隔で一部開放された。その結果、全長6 kmの「緑の回廊」が整備され、野生動物が2つの柵に挟まれた空間を自由に移動することが可能になった。

スペイン 2017年3月15日 Cinco Días オンライン版

■ 大西洋～地中海ルートを走る「鉄道有料自動車道路」—— スペインとフランス、鉄道有料自動車道路への企業参加を促すための書類をまとめる

Las autopistas ferroviarias, por los corredores Atlántico y Mediterráneo — España y Francia ultiman los pliegos para implicar a empresas en las autopistas ferroviarias

勸業相が多数の事業者を前に語ったところによると、鉄道有料自動車道路とは、スペインからピレネー山脈を経由してヨーロッパへと通じる道路で大型車の通行を減らすことを目的に、商用トラックを列車に乗せるというものである。

ドイツ 2017年3月17日 南ドイツ新聞オンライン版

■ 事故：救急車の通行を阻む渋滞車両

Unfall : Verstopfte Rettungsgasse

ヘッセン州内に位置するアウトバーン5号線上の工事現場で、作業員が重傷を負う事故が発生した。しかしこの時、交通渋滞に巻き込まれていた複数のドライバーが、救急車両が走行するスペースを空けることを怠ったため、救助隊員達は負傷者もとまで走って向かうことを余儀なくされた。消防署は現在、問題のドライバーを訴える手続きに取り掛かっている。ドイツでは、救急経路形成義務に違反した場合の罰金は20ユーロと定められている。オーストリアでは最高2,000ユーロの罰金が科される。

スペイン 2017年3月17日 Cinco Días オンライン版

■ インドラ、アディフ、フェロビアル、シントラが、ヨーロッパのモビリティ向上のために「ビッグデータ」活用を推進

Indra, Adif, Ferrovial y Cintra tiran del 'big data' para mejorar la movilidad en Europa

インドラ、アディフ、フェロビアル、シントラの各社は、ヨーロッパにおける交通と物流の最適化のためにデータの大量分析を推進する。「ビッグデータ」の活用により世界規模で4,500億ユーロに相当する燃料と時間が削減できると算定されている。

ドイツ 2017年3月24日 Spiegel オンライン版

■ 議論の多い道路利用料：連邦議会、乗用車課金法の改訂案を可決

Umstrittene Abgabe : Bundestag beschließt Änderungen für Pkw-Maut

乗用車課金制度を巡っては議論が紛糾しているが、このたび連邦議会の議員の多数が、この制度の改訂案に賛成票を投じた。このたびの改訂は、アレクサンダー・ドブリンクト連邦交通相と欧州委員会の間で取り決められた妥協案に基づいている。連邦議会での可決により、道路利用料は2019年からの導入が見込まれる。ただしこの一括法案は、なお連邦参議院を通過する必要がある。法案の可決に参議院の承認は必要ないが、両院協議会を開いて連邦議会との調停を行うことになれば、手続きに遅延が生じる可能性もある。諸州政府が国境地域については道路課金に例外を認めるよう要求しているが、連邦政府はそのような措置は認めないとしている。

ドイツ 2017年3月24日 Spiegel オンライン版

■ 法案修正：アウトバーン民営化の危険性排除を目指すドイツ社会民主党 (SPD)

Änderung von Gesetzentwürfen : SPD will Privatisierung von Autobahnen ausschließen

ドイツ社会民主党 (SPD) は、民間資本がアウトバーン運営会社に出資することを阻止しようとしている。本サイトの入手した情報によれば、同党は現在の法案に含まれている制度の抜け穴を塞ごうとしている。またSPDは、アウトバーン網の一部の運営がいわゆる官民協働の形態をとる可能性も排除することを目指している。さらに、連邦政府に代わってアウトバーンの運営にあたる予定の「交通インフラ会社」には、ごく少額の負債しか許可しないというのが同党の方針だ。